

付記、

さて上記のように書かれていると、ほとんどタクシー運転手の頭が悪いような印象を与えかねないの
で、最近の経験を付記して、タクシー運転手としては、遠くまで反対方向に走って行ってぐるっと回
り込むしか手がなかった準高速道路の設定の状況が、あたかも逆方向ばかりに走っていたという印象
をお客に与える結果になってしまった、そういうお話を追加しておきます。

初めてのロシア見学、楽しみ勇んでウラジオストックに到着しました。 さあ、いつもどうり言葉が
あまり通じない新しい土地では、山ほどいろいろな失敗をするのが一般的で、その失敗を楽しむことが
目的で来たのだ、そのくらいの心構えでみなさんやりましょう。 さて紛失したと思われたパスポ
ートはキャンセルして、新たに領事館の好意で発行してもらった TRAVEL DOCUMENT を持って、
帰国準備万端です。 帰国便の離陸の30分前に国際空港に、汽車で到着しました。 また失敗で
す、S7 航空国際線のチェック・インはもう終了していました。 30分前ではダメです。 一般的
に1~2時間前にチェック・インをするのが、国際線の常識です。 知ってはいたのですが、汽車の
本数が少ないから、30分前に到着するしかなかったのです。 S7 航空のサービス・カウンター
で説明すると、明日の同じ時間に成田行きの直行便のいいのがあるから、それにしろ、手数料のみで
変更してあげると、いうことになりました。 ありがとう、じゃあ一日延期して、ということで空
港近くのモートル HEΓYC に予約をとって、タクシーに乗り込みました。

HEΓYC モートルは、国際空港に近いので、すぐにあれだよと指し示してくれる状況だったのです
が、そのまま通過して、ドンドン・ドンドンと、タクシーさんは、あてどもなく直進しつづけます。
20~30分たって、呆れ返ったいたところに、やっとUターンできる場所に来たらしく、北側の車線
に入り込み、空港とモートル方面に再び向かいます。 モートルには、北側の車線からのみしか入り
込めないのです。 準高速道路なので、中央分離帯がしっかりとあります。 タクシーの運転手さん
が悪かったのではないのです。 問題点は準高速道路の建設に際して、とても長い距離に渡ってUタ
ーンする場所がない、そういう建築がされていたことでした。

総括すると、いつも逆方向にばかり走っているわけではなく、必要に応じてそうせざるを得ない時に、
せっせと逆方向に運転していたんだ、そういう事でした。